

平成10年12月7日
水産庁遠洋課

鯨類捕獲調査母船「日新丸」の火災について
(グリーンピースによる海難遭遇船へのテロ活動について)

1. 状況

19日、第12次南氷洋鯨類捕獲調査に従事するため、太平洋を南下航行中に火災事故を発生した日新丸事故の件（去る11月28日に完全鎮火：12月2日付けプレスリリース参照）に関する続報以下のとおり。

- (1) 12月2日 タグボートによりヌーメア（ニューカレドニア）入港。
- (2) 12月7日 未明にグリーンピースの活動家がヌーメアにて停船中の日新丸及び第1京丸に潜入し、砲台に体を縛り付けたり、スクリューに鎖を巻き付ける等のテロ活動（別添の脅迫状めいたものを所持）。現地警察がグリーンピース活動家を排除中。

2. 今後の予定

- (1) 日新丸は、ヌーメアにて応急修理終了後、さらに、日本で本格修理を行うべく回航する。
- (2) 採集船2隻（勇新丸、第25利丸）及び目視専門船（第2共新丸）は、現在、日本に向けて航行中。第1京丸は日新丸に付添って日本に向かう予定。
- (3) グリーンピースのテロ活動に対し、船主である共同船舶株式会社は、乗船員の精神的苦痛及び妨害による作業遅延による損失について訴訟を起こすことを検討中。

(注) グリーンピースは日新丸が海難事故によりヌーメアに緊急入港したことを承知のうえで（火災発生時には救援の意向を示した）テロ活動を行っており、人道上許容しがたいものである。

問合せ先：水産庁遠洋課捕鯨班
代表：3502-8111内線7242
直通：03-3502-2443